

ボランティア大森北(共助による安心安全なまちづくり)



【大森北学区】

■世帯数：2,941 世帯

■人 □：7,217 人

■面 積：1.781 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 災害発生時に民生委員と協力して、高齢者の安否確認等を実施する。支援希望者は 82 人、担当ボランティアは 37 人。
- ・ 小学校や P T A と協力して、登下校時における学童の安全警備を行っている。担当ボランティアは 16 人。
- ・ これらの活動の延べ参加者数は約 2,400 人。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、地域広報誌で募集、区政協力委員への協力要請

【アピールポイント】

住民有志主体のボランティア活動であり、犯罪や交通事故の抑制に寄与している。

2 きっかけ、背景

都市化が進み、地域住民間の絆が弱くなり、子どもや高齢者の安全対策が不十分になってきた。また、高齢化が進み、災害時に自力で安全を確保できない世帯が増えてきた。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、
民生委員児童委員、ボランティア会
員登録者 計約 70 人

(2) 他団体との協力

民生委員協議会、大森北小学校及
びPTA、大森北学区自治会

(3) 運営協力

連絡協議会の各団体と定期的に会
合を開き、協力を要請している。

4 実施のスケジュール

H21 年 9 月 ボランティア会設立準備会の設置

H21 年 9 月 ボランティア会員の募集、ユニフォー
ム～22 年 3 月 ムの作成

3 月 ボランティア大森北設立総会の開催
活動方法及び活動内容別担当者を決定

4 月 活動開始
やまびこ部会：災害時の安否確認
みどり部会：登下校の見守り

H23 年 6 月 総会（問題点の洗い出しと対策を協
議）

H24 年 2 月 安否確認、模擬訓練及び自主防災訓練
への参加

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・ 活動を通じて、住民の意識が高まった。
- ・ 学童とのふれあいが増加した。
- ・ 父兄より感謝の言葉をいただいた。

(2) 苦労した点

- ・ ボランティア会員が増えない。
- ・ 会員の地域バランスが偏っている。

(3) 今後の課題・展望

- ・ 会員の高齢化による減少が懸念される。
- ・ 他団体との積極的な協力が必要である。

(4) メッセージ・アドバイス

- ・ ボランティア会員登録者の確保と増強、
また、地域住民の理解と関心を高める
方策を練ることが重要である。

地域の安心・安全の向上を願って
ボランティア活動に参加しましょう
ボランティア大森北

●ボランティア会員を募集しております
みどり部会：大森北小学校児童の登下校時安全見守り
安否やまびこ部会：災害時安全確認と助け合い
子どもたちの安全の見守りと万一の災害発生時には安全
確認と助け合いに地域全体での取り組みが大切だと思
います。

●ボランティア会員へのご参加申し込みは
次のいずれかへ
担当民生児童委員
町内会長
大森北集会所
ボランティア大森北
(伊藤 798-3132)

